

評価項目		評価
Ⅰ 保育指針及び保育計画等		
保育指針等	①保育所保育指針の趣旨内容を理解している	60.9
	②保育所保育指針の趣旨内容に沿った保育を行なっている	55.1
	③広陵福祉会の保育理念・保育方針・保育目標を理解している	65.2
	④広陵福祉会の保育理念・保育方針・保育目標に沿った保育を行なっている	56.5
保育計画等	①長期的な見通しを持った計画を立てて、職員で共有している	50.9
	②地域の実情や保護者の意向などを考慮して保育計画を作成している	56.1
	③乳幼児の趣味や関心等を考慮して保育計画を作成している	70.2
	④乳幼児の生活状況や地域性を考慮しながら、行事を保育計画に組み入れている	66.7
	⑤障害を持つ子や特に注意を必要とする子への指導計画が立てられている	70.2
	⑥子どもの実情や環境の変化に応じて計画の見直しや改善を行なっている	66.7
Ⅱ 保育のあり方及び内容等		
健康と安全安心の配慮	①一人ひとりの子どもの健康状態を定期的かつ継続的に把握し、適切に管理している	71.0
	②一人ひとりの子どもの発育・発達状況を的確に把握している	71.0
	③登園時には怪我の有無や体調の変化などがないかを確認している	80.3
	④子どもの体調が悪そうな時は、検温したり寝かせたりして適切な処置を行なっている	87.0
	⑤感染症予防に努めるとともに、感染症発症時には予防策等を保護者に通知している	69.7
	⑥玩具や遊具の点検を定期的に行ない、安全で安心な環境づくりに努めている	62.3
	⑦火災や不審者対応等を想定した訓練を定期的に行なっている	78.8
	⑧アレルギー疾患を持つ子どもに対して、栄養士や調理員と連携しながら対応している	84.1
	⑨虐待や不適切な養育が疑われる場合には関係機関と連携しながら対応している	68.2
保育	①子どもとの温かなやりとりやスキンシップで意思疎通を図り信頼関係を築いている	77.3
	②子どもが遊びや活動を深めていくためのヒントやアイデアを提供している	68.2
	③自信を失わせるような言動は控えて安心感や自己肯定感を持てるようにしている	69.7
	④クラスに関係なく、どの子どもにも気軽に声をかけている	81.8
	⑤配慮が必要な子どもについて、保育士間で情報を共有しながら対応している	88.5
	⑥成育環境等の違いによる心身の発達に個人差があることを理解して対応している	77.3
	⑦子どもの活動が豊かに展開されるよう遊具や玩具の質及び数量等を考慮している	62.1
乳児保育	①授乳の際は目を合わせたり微笑みかけたりしながらゆったりと飲ませている	76.7
	②おむつを交換する際には声をかけたり、スキンシップを取ったりしながら行なっている	82.1
	③授乳やおむつ交換等のサインを見逃さず、適宜対応している	69.7
	④一人ひとりの排泄状況に応じた配慮を行なっている	80.6
	⑤家庭と連携しながら、離乳食の移行を行ない様々な食品に慣れていくようにしている	74.1
	⑥十分な睡眠がとれるよう静かな環境を整えている。	74.4
	⑦午睡中は体を仰向けにするよう意識しながら、体温や顔色、呼吸等をチェックしている	78.6
幼児保育	①生活に必要な基本的な態度や習慣が身につくようにしている	64.7
	②運動あそびを充実させて、やり遂げた喜びや自信が持てるようにしている	58.3
	③友だちとの関わりを通して思いやりや譲り合いの気持ちが身につくようにしている	60.8